

授 業 科目名	【 G カリキュラム】 行政法(地方自治法) ※本年度は開講せず		選択	開講年次	【 G 】 3 【 EF 】 3	単位数	【 G 】 2 【 EF 】 2
科目区分	専門科目：【 G 】教科及び教科の指導法に関する科目（－・－・－・－）／【 EF 】教科及び教科の指導法に関する科目（－・－・－・－）						
担当形態	単独	【 G 】教員の免許状取得のための（－・－・－・－）科目 【 EF 】教員の免許状取得のための（－・－・－・－）科目					
施行規則に定める科目区分又は事項等							
サブタイトル	地方自治の法と仕組み			担当者	八木 保夫		
授業概要	【概要】 地方自治法を中心に、地方自治に関する法体系の仕組みと機能について学ぶ。地方分権、市町村合併、首長や議員の選挙、住民投票、まちづくり、青少年対策、高齢者対策、公務員の不正問題、産業振興、情報公開・個人情報保護など、日々私たちの直面する問題についても適宜選択しつつ進めていく。						
	【到達目標】 地方公共団体に関する制度を理解し、問題解決のためにはどのような活動が可能か考えることができる。						
履修条件	憲法概論、行政法概論は履修済みであること。行政法総論、行政救済法は履修済みか並行して受講することが望ましい。						
教科書・ 参考書	【参考書】 授業中に、適宜、資料を配布する。 【参考書】 松本英昭『地方自治法の概要（第 6 次改訂版）』（学陽書房 2014 年） 磯部力・小幡純子・斉藤誠編『地方自治判例百選（第 4 版）』（有斐閣 2013 年）等						
授業回数	授業内容						
1	はじめに（ガイダンス）						
	予習：地方自治の要素について調べる			復習：地方自治に関する新聞報道等を探す			
2	地方自治の基礎理論						
	予習：団体自治の根拠について考える			復習：地方自治の基礎理論について理解する			
3	地方公共団体の構成要素						
	予習：地方公共団体の構成要素を調べる			復習：地方公共団体の構成要素について理解する			
4	地方公共団体の種類						
	予習：地方公共団体の種類を調べる			復習：地方公共団体の種類の全体を概観する			
5	地方公共団体の事務						
	予習：地方公共団体の新旧の事務を比較する			復習：地方公共団体の事務について理解する			
6	行政主体間の役割分担、事務配分						
	予習：都道府県と市町村の事務配分を調べる			復習：それぞれの行政主体の役割について理解する			
7	地方公共団体の権能①（自主組織権）、②（自主行政権）、③（自主司法権）						
	予習：地方公共団体の基本的な権能を調べる			復習：地方公共団体の組織・行政活動について理解する			
8	地方公共団体の権能④－1（自主財政権 1 － 地方分権改革での位置づけ）						
	予習：地方公共団体の自主財政権を調べる			復習：地方公共団体の歳入について理解する			
9	地方公共団体の権能④－2（自主財政権 2 － 地方税）						
	予習：地方税の種類を調べる			復習：地方公共団体の税収について理解する			
10	地方公共団体の権能⑤（自主立法権）						
	予習：地方公共団体の自主立法権を調べる			復習：条例制定権の範囲について理解する			
11	地方公共団体の機関						
	予習：地方公共団体の機関の種類を調べる			復習：地方公共団体の各機関の役割を理解する			
12	住民の権利義務①（直接請求・住民監査請求）						
	予習：住民の請求権について調べる			復習：直接請求と住民監査請求について理解する			
13	住民の権利義務②（住民訴訟）						
	予習：住民訴訟の手続を調べる			復習：住民訴訟について理解する			
14	住民の権利義務③（住民参加）						
	予習：住民参加のあり方を考える			復習：住民参加について理解する			
15	おわりに（総括）						
	予習：これまでの講義内容の復習			復習：地方自治の身近な諸問題について考える			
評価方法	授業の進行に応じて複数回の小テストを実施するほか、授業中の質疑応答や授業態度をも考慮に入れ、それらを総合評価する（おおむね、小テスト総計 80%、質疑応答・授業態度 20%とする）。						
評価基準	地方自治法の役割・特徴について十分理解し文章等で説明できる者は程度に応じて S または A 評価，地方自治法の特徴についてよく理解できる者は B 評価、地方自治法で使用される用語の意味について一応の理解ができる者は C 評価、C 評価に満たない者については程度に応じて D または E 評価とし、小テスト欠席等、評価不能な者に対しては F 評価とする。						
その他	講義中の私語、携帯電話の使用など受講態度の悪い者には、厳しく対処する。 ※G 刈：法【－】 疎°【－】 情【－】／EF 刈：法【－】 疎°【－】 経【－】						